

整理番号	発刊日	Title	タイトル訳	出典	所見等	情報提供者
2023 -172	2023/8/31	Japan Requests Largest Defense Budget Ever	日本は過去最大の防衛予算を要求	Naval News 2023/8/31	 日本の軍事ライターが投稿した記事がNaval Newsから出ています。今富OBから紹介いただきました。ASEVIについては、現有DDGの延長線上にあり、部隊運用上はあまり違和感なく使えるのではと安心しましたが、2隻だけのSPY-7をこれから維持してゆく装備関係の方の苦勞が思いやられます。新型FFMについては排水量が大きくなりましたが、艦橋周りの構造変更がステルス性能を損なわないのか、CIC内配置が「もがみ」型と同じなのか、USV、UUVによる対機雷戦の運用構想と水上戦闘部隊としての構想、部隊編成などに変更はないのか・・・など、気になるところはあります。(下線は訳者)	岩崎洋一
2023 -173	2018/6/12	Canadian submarines not part of international Arctic under-ice exerciseほか	カナダの潜水艦、国際北極氷下演習に参加せずほか2編	CBC News 2018/6/12	 過去5年程度のカナダの次期潜水艦の要求事項に関する議論の推移を示す3編の記事です。この議論の背景には、中露の北極圏への進出、北極圏権益に関する隣国米国との微妙な思惑の相違などが垣間見られます。従来、カナダ潜水艦は、氷の下での運用はされてこなかったようです。一方で、近年の情勢変化に対応し、年間通じての北極海の氷の下の通過・哨戒を可能とする場合の潜水艦の選択肢は、原潜以外にはないと思われます。迫りくる危機感是十分理解できますが、次期潜水艦に対する運用の構想は、現実性も考慮したうえで、慎重に整理される必要があると思いました。ただし、この3編は、先般のCDA研究所報告書の発表以前のものであることを明記しておきます。	本山泰之
2023 -174	2017/4/1	Rum: The Spirit of the Sea	ラム酒: 艦乗り(ふなのり)の魂	Naval History Magazine 2017/4/1	 海軍歴史マガジンの2017年4月号から、英国海軍とラム酒の艦上配給制度に関する面白いエッセーです。米海軍が艦上での完全禁酒に至った経緯については、拙稿「米海軍101年の禁酒」、雑誌「水交」639号をご参照ください。	岩崎洋一
2023 -175	2023/8/29	Report on Navy Large Unmanned Surface and Undersea Vehicles	海軍の大型無人水上艦及び水中艦に関する報告	USNI News 2023/8/29	 米海軍の大型・中型無人水上艦及び超大型無人水中艦に関する記事です。それぞれの艦種の定義及び使用目的、当面の開発予定が明記されています。米海軍では大型無人水上艦はミサイルモジュール母船として、中型無人水上艦は情報収集偵察任務に、そして超大型無人水中艦は機雷敷設用に使用することを目標としているようです。それぞれ使用目的が特化しています。	佐々木司
2023 -176	2023/9/8	North Korea's New Submarine Carries 10 Nuclear Missiles	北朝鮮の新型潜水艦は10発の核ミサイルを搭載する	Naval News 2023/9/8	 北朝鮮の最新型潜水艦が進水したようです。この艦は既存のロメオ級を大改造したものようですが、セイル後方にVLSが10セル追加されています。また艦首部分が従来のロメオ級とは全く異なることから、船体中央部より前側は新造したものと考えられます。ただ、艦規模に比して潜航が小さいのが気になります。実際の実力はいかほどのもののでしょうか？	佐々木司
2023 -177	2023/8/16	As Australia weighs future fleet, international shipbuilders make their pitches	オーストラリアが将来の艦隊を検討すると、国際的な造船業者が売り込みを行います	MAX BLENKIN 2023/8/16	 数年前に次期戦闘艦を英国TYPE26にSPY7を装備した艦船に決定していたオーストラリアが混乱しています。理由は幾つかありますが、RAN退役少将は、(世間に流されることなく)オーストラリアの特有な環境、つまりブルーオーシャンとブラウンオーシャンの両方に対応可能な海軍とすべきと主張しています。	清水隆
2023 -178	2010/8/1	Missouri Endgame	「ミズーリ」艦上でのエンドゲーム	Naval History Magazine 2010/8/1	 「ミズーリ」艦上での降伏調印式に参列した海軍・海兵隊の将星たちの愛憎物語です。海軍歴史マガジン2010年8月号から。	岩崎洋一
2023 -179	2017/5/16	National Naval Shipbuilding Enterprise	国家艦艇建造事業	Australian Gov 2017/5/16	 オーストラリア国防省のウェブサイト内に「国家艦艇建造事業」に関する国防省としての取組の説明がありました。これを読めば、現在のオーストラリア艦艇建造基盤、国としての艦艇建造基盤の在り方、それに対する取り組みがよくわかります。	佐々木司
2023 -180	2020ころ	SHIPBUILDING PROGRAMS	造船プログラム	Australian Naval Infrastructure 2020	Australian Naval Infrastructureとは、以下のような国営企業のようなようです。ANIは政府の企業であり、共同株主は財務大臣と国防大臣です。ANIの目的は、インフラ及び関連施設の所有者、開発者、管理者として連邦の継続的な海軍造船プログラムをサポートすることです。ANIは、オズボーン海軍造船所の世界クラスの造船所への拡張と近代化、および共用インフラの継続的な運用と保守を通じて、これらの機能を果たすことに重点を置いています。	川原梅三郎

整理番号	発刊日	Title	タイトル訳	出典	所見等	情報提供者
2023 -181	2023/8/1	The Coast Guard Should Lead to Protect Undersea Cables	沿岸警備隊は率先して海底ケーブルを防衛せよ	Proceedings 2023/8/1	 プロシーディングス誌8月号から、海底ケーブルにも気をつける、という論説です。海上自衛隊では敷設艦を擁する海洋業務群マターでしょうか？ それとも…海上保安庁に一任？ 13ページ以下に読者コメントも付けました。	岩崎洋一
2023 -182	2023/9/11	Italy's new generation OPVs by Orizzonte Sistemi Navali	Orizzonte Sistemi Navaliのイタリアの新世代哨戒艦	European Defence Review 2023/9/11	 Naval Cocckpitを備えたイタリアの新しい哨戒艦です。計画にオプションとして、「作戦基地に必要な支援とインフラ強化も含まれる」とありますが、単に建造だけでなく、施設整備等を含んだ契約なのか、気になります。	川原梅三郎
2023 -183	2023/9/13	What Is Left of russia's the Minsk Landing Ship After Ukrainians Strike Sevastopol, Is It Realistic to Restore It?	ウクライナ軍によるSevastopol攻撃後、ロシアの揚陸艦Minskに何が残されたのか、修復は現実的なのか？	Defense Express 2023/9/13	 ウクライナ軍がセバストポリにある造船所にミサイル攻撃を仕掛け、入渠中であった揚陸艦と潜水艦を破壊した模様です。ウクライナは自爆型USVやミサイルを用いて着実にロシア黒海艦隊艦船にダメージを与えています。入渠中艦船を攻撃できたのはロシア艦艇の情報を着実に把握していた証拠でしょう。逆にロシアの防空システムは全く機能していなかったのでしょうか。	佐々木司
2023 -184	2023/9/12	Navy Expanding 'Cold Spray' Welding Alternative in Fleet Repair	米海軍は艦隊修理における「コールド・スプレー」溶射を拡大する	USNI News 2023/9/12	 既に導入されているのならご容赦お願いします。米海軍は最近、このような技術を使って小型化、可搬化できる装置を実用化したそうです。溶接ではなく溶着して積層あるいは「ろう付け」するようなイメージでしょうか？ 潜水艦の艦内で、入渠することなく、腐食したロッドのシール面を修理したということです。普通なら5か月の入渠期間が必要なところを5日くらいで終わったということです。	岩崎洋一
2023 -185	2023/9/6	Navy Reveals Contract Costs of Latest 10-Hull Destroyer Deal	海軍は最新の駆逐艦10隻の契約額を公表	USNI News 2023/9/6	 複数年契約によるフライトIII型10隻合計の契約額が145億ドルと公表されました。1隻平均が14.5億ドル、日本円で2,117億円(146円/ドルレート)です。現在、バス鉄工所は6隻、インガルスは4隻を建造中で、かつ、5年先までフライトIIIの建造予定が明確になっています。建造基盤の維持に理想的な形です。	岩崎洋一
2023 -186	2023/8/1	The Impact of Cannabis Legalization on Service Members	大麻(キャナビス)合法化が軍人に与える影響	Proceedings 2023/8/1	 文中にあるように、カナダでは軍も含めて2018年以降、嗜好用大麻が解禁されました。この論文は、米軍も大麻解禁に備えて、種々の規則を変えよというものです。日本では想像もつきません。巻末の読者コメントには、まともな意見と反対の意見に分かれています。プロシーディングス誌8月号から。	岩崎洋一
2023 -187	2023/7/1	The Space Force Should Follow a Naval Model	米宇宙軍は海軍モデルに従うべきだ	Proceedings 2023/7/1	 このエッセイは米宇宙軍の組織編制を海軍式にせよという主張です。航空自衛隊に宇宙作戦群、宇宙作戦隊という組織ができましたが、相通じるものがあります。プロシーディングス誌7月号から。	岩崎洋一
2023 -188	2023/9/21	Senate Confirms Eric Smith as New Marine Corps Commandant	上院はエリック・スミス大將を海兵隊の新たな総司令官に承認	USNI News 2023/9/21	 300名の将官人事停滞の中で、ようやくトップ3名が承認されました。統合参謀本部議長にブラウン空軍大將、陸軍参謀総長にジョージ陸軍大將、海兵隊総司令官にスミス海兵大將です。クローチャー(討論を終結させるための手続き)のプロセスが採用されたということです。クローチャーについては、CRS報告(2023.7.18付)を参照のこと。	岩崎洋一
2023 -189	2023/9/18	Report to Congress on Senate Nomination Holds	上院の指名保留に関する議会報告	USNI News 2023/9/18	米国では、一人の上院議員の指名保留を覆すには、大変な手続きが必要だということが書かれています。	岩崎洋一
2023 -190	2023/9/8	The first fixed-wing UAV lands on a Royal Navy aircraft carrier	英海軍の航空母艦に最初の固定翼UAV が着陸します	Navy Lookout 2023/9/8	 英海軍の航空母艦での新たな飛行運用に関する試験が始まったようです。搭載量が少ないことは難点として挙げられますが、実任務を持つ貴重なヘリコプターに輸送任務を負わせるのは、様々な観点から合理性に欠けます。同じ航空機でもより経済性を追求するならば、回転翼よりは固定翼、有人固定翼よりは無人固定翼との思考になるのは、至って自明の理のように考えます。海上自衛隊でも、DDHにおいてT5練習機を運用するなどして、固定翼の運用研究を行っていくことで、有益な知見が得られるのではないかと思います。輸送、連絡の他、様々な用途開発にも繋がるでしょう。	本山泰之

整理番号	発刊日	Title	タイトル訳	出典	所見等	情報提供者
2023 -191	2023/9/14	India to Take on Future U.S. Navy Ship Maintenance Per Agreement	インドは合意に従って、将来、米海軍艦船の維持整備を引き受けるだろう	USNI Nwes 2023/9/14	 米海軍はインド太平洋地域前線での艦船修理造船所を、日本及びインドに求めています。	清水隆